

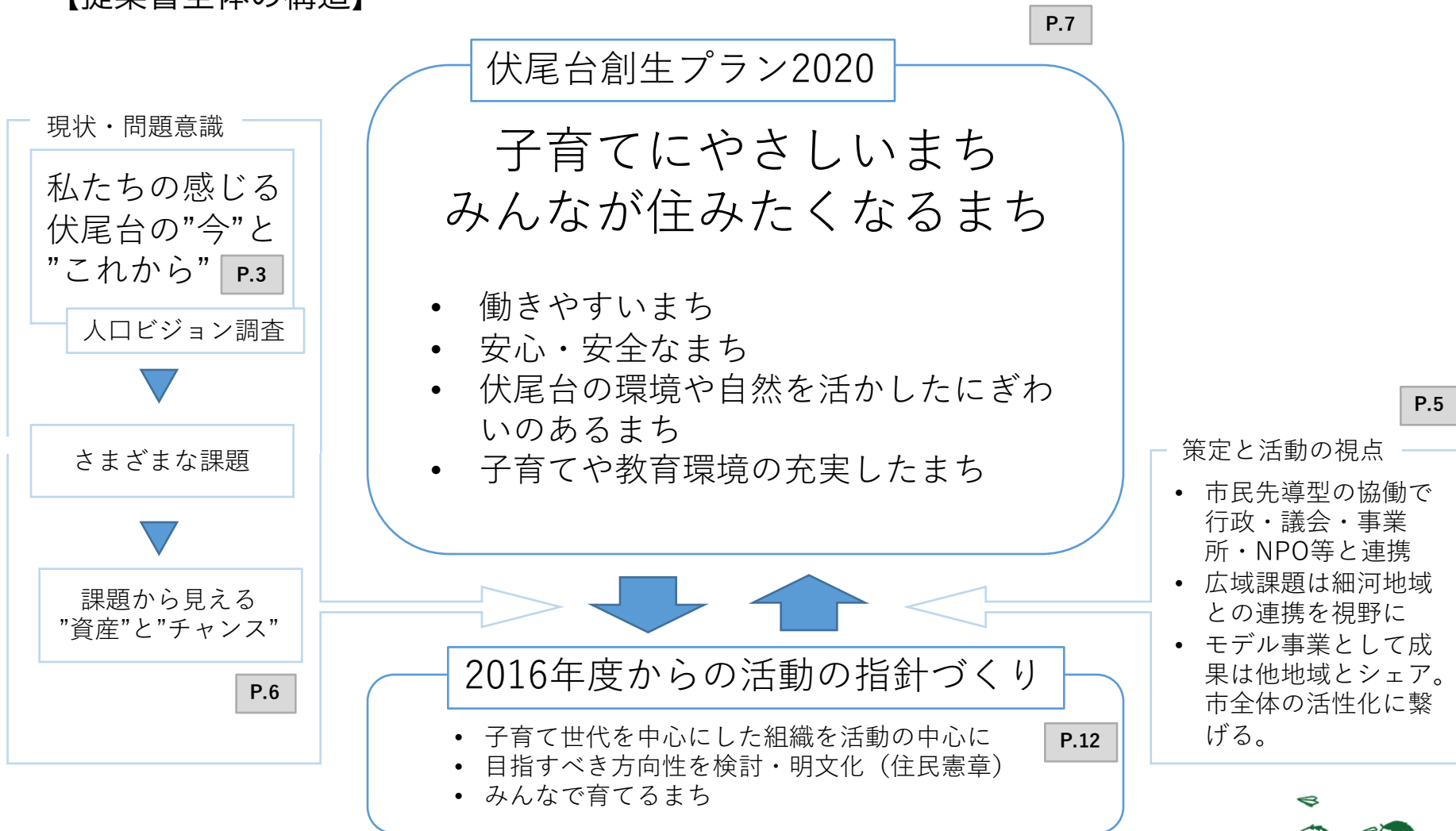
伏尾台創生プラン2020

子育て環境の整備がみんなが住みたくなるまちの創生につながる

伏尾台「子育てにやさしいまち」宣言

伏尾台創生会議2020

## 【提案書全体の構造】



# 0. 私たちの感じる伏尾台の”今”と”これから”

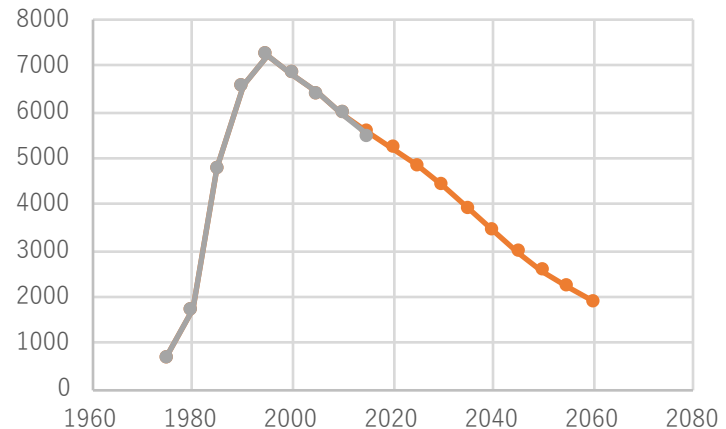
伏尾台では、人口減少と高齢化が急速に進んでいます。若い世代は、進学や就職、結婚でまちを離れ、戻ってくる人もごくわずかです。残念ながら伏尾台の過疎化は、待ったなしまで進んでいる、そういう認識は、住民である私たちが一番強くもっているでしょう。この数年でなんとかしなければ、私たちが創り上げてきた伏尾台が、私たちが愛している伏尾台が無くなってしまふかもしれない。そんな思いでこのプランをまとめました。

今回私たちは、「子育てにやさしいまち」という将来像を提案します。「子育てにやさしいまち」は、高齢者にもやさしいまちで、伏尾台に住みたい人を増やし、人口減少を緩和するビジョンです。本プランでは、伏尾台が抱える多くの課題に対して、要望ではなく、2020年にあるべき地域の姿と、そこに向かって市民と市が一緒になって伏尾台を再び創生するための、持続的な活動のみちしるべを明らかにしたつもりです。

私たちは自分たちのまちを良くしていきたいと思えます。そして、伏尾台がよくなることで池田市全体に良くなってほしいと考えています。

伏尾台は、みんなで育ててきたまちです。これからも、「みんなで育てるまち伏尾台」として、若い世代を中心に、こどもや高齢者、幅広い世代が力を合わせていきます。行政も、議会も、地域の事業者もNPOも、一緒になって応援し参加していただけますよう、お願い致します。

人口の推移と将来推計



このままでいくと2040年には、人口4000人を下回る可能性が高い。人口減少の大きな要因は、子育て世代のまちばなれにある。若者が住み続けたいまち、子育て世代が住みたいまちへいかにして変わっていくかが大きな課題。



## 【策定までの流れ】



伏尾台では、今までもコミュニティのさまざまな課題についての議論や活動が行われてきました。今回の創生プランの策定は、これらの活動と全くかけ離れたものではなく、従来の活動をきちんと踏まえた上で、伏尾台が目指す方向を再確認するものとなりました。

第一回の会議では、本年度調査が行われた人口ビジョンの報告を聞いて今後人口が4,000人を切っていく可能性が高いことを確認し、今までの議論を踏まえた上で、伏尾台のテーマを「子育て世代の住民が増えるようなまちづくり」にしました。

もっと若い人たちの意見を聞くべきだ、ということで、第二回の会議には、地域住民約50人にも参加してもらい、徹底的な意見収集の機会にしました。少人数のグループに分かれての意見交換や会議にできない方へのアンケート調査も行いました。

第三回の会議では、これまでの意見をまとめ、ひとつのビジョンを作りました。「子育てにやさしいまち 子育て世代が住みたくなるまち」を目標に、4つの分野から目指す方向性を整理しました。そして、第四回の会議で創生プラン案としてまとめました。



# 1. 創生プラン策定における視点

## 【背景と課題に関する考え方】

- ① 生活の中で感じる個々の課題の再確認とともに、背景にある「急速に進む高齢化と人口減少」に焦点をあて、人口減少の緩和のために必要なまちづくりを考えた。
- ② ニュータウンである伏尾台の特徴を踏まえながら、細河地域との連携や池田市全体の活性化を視野に入れて考えた。
- ③ 課題を課題として捉えるだけでなく、自ら課題に取り組むことでそこから活性化のヒントを探しだした。

## 【策定にあたっての留意点】

- ① 策定のみにおわらず、実現を目指すためのプランにする。社会実験にも積極的に取り組む。（実現性のある計画策定）
- ② 市民が主体的に行動することで行政等関係機関を巻き込み、市が国や府と連携した取組みができる環境を整える。（市民先導型の協働）
- ③ 池田市全体の活性化につながるような地域創生のモデルを実現する。（成果の池田市全体への還元）
- ④ 活動の持続化と活性化のための今後の組織形態を考えると同時に、周知普及のためのSNSの活用や高齢者への配慮としてICTを使わない情報共有の方法など幅広く検討する。（組織化と情報発信）



## 2. 伏尾台をとりまく「課題」と「資産」の再発見

人口ビジョンの調査報告からも、生活者としての実感からも言えるのは、「人口減少」と「高齢化」こそが伏尾台の根幹的な課題だということでした。そして、これらの課題とそこから派生するさまざまな課題について話をするなかで、「『弱み』の中に『強み』があるのでは」「『課題』こそ『資産』になりうるのでは」ということに気が付きました。

### 課題

1. 人口減少により増える中古住宅
2. 急激な高齢化
3. 若い世代の流出
4. 駅からの交通の便
5. こどもの減少
6. 伏尾台小学校の統合、池田北高校の移転、高速インターの開設による環境変化
7. 急速な人口減少。高齢化



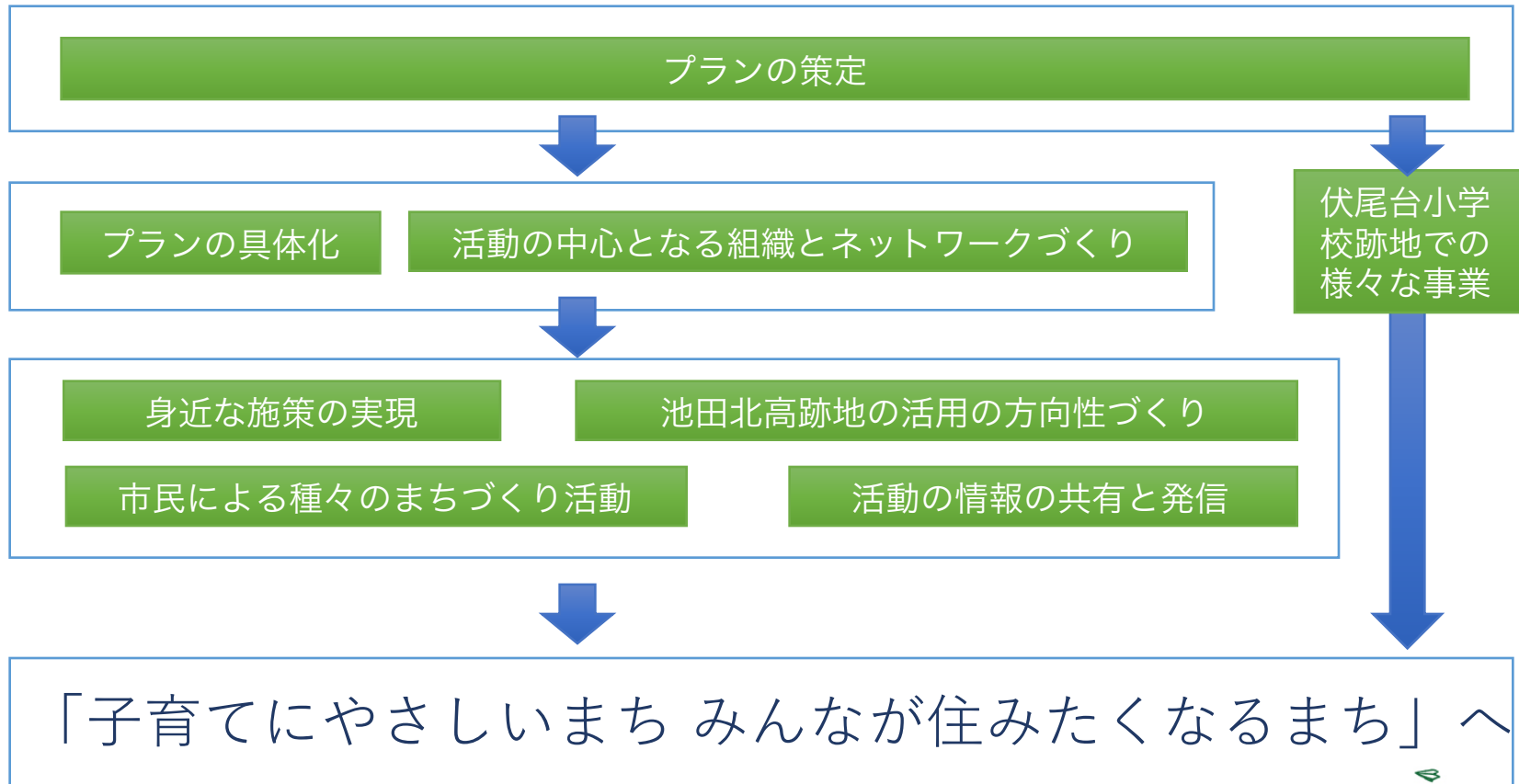
### 資産

1. 中古住宅をリノベーションしての開発の可能性
2. 経験豊富な高齢者の増加
3. 課題意識の高い若い世代が増加
4. 豊かな自然、住環境
5. 特色のある教育施設
6. あらたな活用の可能性
7. 子育てのまちとしてのいち早い創生



### 3. プランとアクション

伏尾台の資産を活かしてプランを実現していくために必要なアクションを整理します。



## 4. 伏尾台創生プラン2020

子育てにやさしいまち 子育て世代がすみたくなるまち



### 働きやすいまち

1. 一時保育・病児保育の充実
2. 就労場所の確保に繋がるような開発
3. 職住近接型業種の誘致推進・起業支援



### 安心・安全なまち

1. 医療施設のさらなる充実
2. 住民のコミュニケーション・防犯活動の強化（あいさつ運動など）
3. 健康増進施設の検討
4. 交通インフラの維持



### 住環境や自然を活かしたにぎわいのあるまち

1. 空き家のリノベーションによる活用（レストラン・カフェなど）
2. 市内外から子連れで訪れる価値のある施設・公園などの整備
3. リーダークラブやボーイスカウトなど青少年活動の場所・受皿づくり
4. ビエンナーレなどのにぎわい創出イベントの実施



### 子育てや教育環境の充実したまち

1. 子育て施設のモデル事業の実施・子育て施設の集積
2. 大学との連携や高齢人材を活かした教育環境づくり
3. NPO等と連携した多様な教育環境の提供やほそごう学園の特色を活かした義務教育の実施





# 働きやすいまち 伏尾台

## 【重点項目】

1. 一時保育・病児保育の充実
2. 就労場所の確保に繋がるような開発
3. 職住近接型業種の誘致推進・起業支援

子育て世代がすみたくなるまち、一番目の要素は、「働きやすいまち」だと私たちは考えます。

安心してこどもを預け、働けるまち。職住近接で働く場所があるまち。通勤の交通の便がきちんと確保されているまち。働くための環境が整っていないと、伏尾台がどんなに素敵なまちになってもそこに住むことが難しくなってしまうかもしれません。

### 1. 一時保育・病児保育の充実

現在池田市内には、病児保育のサービスがありません。お母さん方は、豊中市内まで子どもを預けに行っているそうです。伏尾台・細河地域で病児保育の実現ができれば、子育て世代の定住への大きな魅力になると考えます。

### 2. 就労場所の確保に繋がるような開発

池田北高や伏尾台小跡地の開発においては、雇用の確保や人材育成・就労支援など「働くこと」につながる視点を取入れるべきだと考えます。

### 3. 職住近接型業種の誘致推進・起業支援

中古住宅の斡旋や空家のリノベーションを推進する中で、職住近接型の発展を目指すべきと考えます。



# 安心・安全なまち 伏尾台

## 【重点項目】

1. 医療施設の充実（小児科・内科）
2. 住民のコミュニケーション・防犯活動の強化（あいさつ運動など）
3. 健康増進施設の検討
4. 交通インフラの維持

医療の充実や健康増進、防犯、コミュニティの充実などさまざまな視点から「安心・安全なまち」を目指します。

1. 医療施設の充実（小児科・内科）  
こどもや高齢者がすぐに診察を受けられるよう、地域医療のさらなる充実を目指して行きます。夜間や緊急の診療への対応など、細河地域との連携も視野に入れます。
2. 住民のコミュニケーション・防犯活動の強化（あいさつ運動など）  
子どもを守る地域、安心して子ども達が外出できる地域を目指し、住民同士の相互交流を深めます。
3. 健康増進施設等の検討  
新名神の開通など、周辺環境の変化を視野に入れ、広域的な機能を持つ健康増進施設等を検討。
4. 交通インフラの維持  
子育て世代や高齢者のために、また通勤の足の確保のため、コミュニティバスやオンデマンドバス方式の導入も含め検討します。



# 環境や自然を活かしたにぎわいのあるまち 伏尾台

## 【重点項目】

1. 空家のリノベーションによる活用  
(レストラン・カフェなど)
2. 市内外から子連れで訪れる価値のある施設・公園などの整備
3. リーダークラブやボーイスカウトなど青少年活動の場所・受皿づくり
4. ビエンナーレなどのにぎわい創出イベントの実施

「にぎわいのあるまち」を目指します。但し、ここでいうにぎわいは、大規模な商業施設の誘致などではなく、伏尾台の魅力である住環境や自然を活かして地域の魅力を作っていくことを意味します。

1. 空家のリノベーションによる活用（レストラン・カフェなど）  
空家を活用し、雰囲気のよい飲食店をつくることで、まちの魅力を増加させます。
2. 市内外から子連れで訪れる価値のある施設・公園などの整備  
大きな公園に行きたい住民は、現在箕面まででかけているそうです。
3. リーダークラブやボーイスカウトなど青少年活動の場所・受皿づくり  
経験豊富な高齢者などの資産を活かし、青少年活動を支援します。
4. ビエンナーレなどのにぎわい創出イベントの実施  
地域内に点在する公園を活かし、地域全体を盛り上げるアートイベントなどを開催します。



# 子育てや教育環境の充実したまち 伏尾台

## 【重点項目】

1. 子育て施設のモデル事業の実施・子育て施設の集積
2. 大学との連携や高齢人材を活かした教育環境づくり
3. NPO等と連携した多様な教育環境の提供やほそごう学園の特色を活かした義務教育の実施

ほそごう学園や伏尾台小学校跡地の活用、北高の廃止など、教育は、伏尾台の創生にとって大きなキーワードになります

1. 子育て施設のモデル事業の実施・子育て施設の集積  
伏尾台小学校の跡地を活用し、子育て支援の活動を行うとともに、病児保育の充実などの関連施策を実施し子育てのまちとしての充実を図ります。
2. 大学との連携や高齢人材を活かした教育環境づくり  
大学との連携や専門知識の豊富な高齢人材の活用による教育講座を開催するなど、教育・生涯学習の機会を増やします。
3. NPO等と連携した多様な教育環境の提供やほそごう学園の特色を活かした義務教育の実施  
多様な子ども達に対応できる教育環境を、ほそごう学園やスマイルファクトリーとの連携で実施します。



## 5. 2016年度からの活動について

2016年度、まずは今後の活動の中心となる組織づくりを行いたいと考えます。課題意識のある子育て世代の若者や高齢者、こども達にも参加してもらい、市民と専門家が連携した組織をつくり、本プランをより具体化した行動計画を策定します。並行して市民による活動の継続拡大や伏尾台小学校跡地の活用を進めます。

2017年度からは、具体的なプランをひとつずつ実現するため、市や事業者、専門家やNPOと連携しながら活動を継続拡大します。

### 2016年度

- ・継続的な活動のための若者を中心にした組織づくり
- ・目指すべき方向性の具体化と明文化
- ・伏尾台小学校跡地を中心としたまちづくり活動の展開
- ・活動の情報発信

### 2017年度以降

- ・まちづくり活動を継続拡大し、身近な施策からひとつずつ実現します。
- ・北高跡地の開発など、伏尾台の持つ資産の活用を進めます。



# 資料 市民の意見

伏尾台の活性化の活動や、今回の創生プラン策定の過程で得た意見の一覧です。創生プランは、これらたくさん  
の意見を整理・集約し、議論したものをもとに策定しています。

## 「働きやすいまち」に関連する意見

<創生会議での意見>

- 起業を目指す人の支援が必要
- 病児保育の施設がないので、豊中の民間の病児保育施設に預けている
- 伏小の体育館を有料開放し、管理人を置いてはどうか。働く場所づくりにもなる
- 北高跡地で、民間と連携して、安心して働ける環境づくりをしてほしい
- 北高の食堂をレストランにすれば、雇用の増加につながる
- 肢体不自由児訓練センターのようなものが池田になく、現在は川西に通っている。伏尾台にできないか
- カフェやレストランを開設すれば、働く場所づくりにもなる
- ST、PT、OTなどの医療的訓練施設を建設してはどうか
- やまばと学園の分校を開設してはどうか
- 北高、伏小跡地をレンタルオフィスとして活用してはどうか

- フードバンクの拠点として活用してはどうか
- 北高跡地を「北摂総合スポーツグラウンド」化する

<アンケート等での意見>

- 一時保育の施設があると助かる
- (伏小を) 青空市場として活用できないか
- 起業支援
- 老人デイを開設してはどうか (雇用の面からも)
- 伏小の給食室を活用し、高齢者向けの弁当宅配事業を始めてはどうか
- 少額の地域券で助け合いのできるシステムを構築すべき
- 有償ボランティアの導入
- タクシーの拠点をおいてはどうか
- 伏小のグラウンドを犬や猫の訓練場所にする
- 料理や園芸、写真等の教室を開設する
- 陶芸教室を継続する
- 劇団の養成所にする



- ブックカフェ
- フリーマーケットやコンビニを誘致する
- 植物工場やベンチャーの研究所を誘致する
- (伏小を) イベント会場として活用する
- コープを拡大、拡充させる
- パン工場を誘致する
- 伏尾台地域が運営するショッピングモールをつくる
- 水耕栽培工場誘致または設立 (雇用にもよい)
- ペットに関する総合施設をつくる
- 納税や住民票取得ができるコンビニセンターをつくる

### • 「安心・安全なまち」に関連する意見

#### <創生会議>

- 安心・安全に加えて、「便利」も検討すべき
- 医療補助の手続きを簡素化してほしい
- 「みんなでサポートするまち」にしたい
- 安全に暮らせることがみんなの一番の望み
- コミュニティがしっかりしているので、高齢者の孤独死はない
- 川西市と連携して小児科を誘致してはどうか
- マナーが低下している (路上駐車が増加)
- 防犯カメラの増設を望む

- 医療、介護、健康のフォロー施設があるとよい
- 北高跡地や伏小跡地のどこかにヘリポートがつくれれば有効に思う
- 小児科、内科がほしい
- バスを小型化し、もっと住宅街の中まで走ってほしい
- 世代間で交流できる場所が少なく、イベントに参加する人も少ない
- いろんな世代から意見を出し合ってもらいたい
- 個ではなく、みんなで課題を考えるべき
- 最近是一人ひとりが個にこだわり、隣組精神がないように思う
- 伏尾町などと連携しての病院やスーパーの誘致
- 池田市全体として、福祉や医療に力を入れる
- 自治会や各種団体組織を見直す
- 伏小跡地南校舎を複合施設化する

#### <アンケート等でのご意見>

- 子どもと老人の集う場所があるとよい
- 学童保育として活用できないか
- 老人向け健康増進施設はどうか
- プールを活用すべき (防災面など)
- (伏小を) 防災拠点として整備すべき
- グラウンドにAEDを設置すべき





- 介護施設
- 図書館や自習室として活用
- 中高生のクラブの合宿場にする
- 高齢者や小児のための総合病院を誘致する
- センターマンションの中庭を公共化する
- 交番所を置く
- 各家庭に赤色灯を置く
- 地域バスを走らせる
- 特別養護老人ホームを開設する
- 各種団体や防災用品の倉庫にする
- 市役所の出張所を置く
- 避難場所として、簡易ベッドを用意しておく

### 「伏尾台の環境や自然を活かしたにぎわいのあるまち」に関連する意見

#### <創生会議>

- 家が安いのはウリになる
- 「来よう」という何かが足りない。「家が安い」だけでは・・・
- 空き家の活用につき、大学とコラボして外国人留学生の受入れ施設というのはどうか
- 周辺の山を開発して伏尾台に入る道を増やしてはどうか

- 環境の良さは、定住決定の決め手となった
- 大きな遊具のある公園がないので、箕面のすべり台にいている
- 駐車場付の公園があるとよい
- リーダークラブやボーイスカウトの活動を伏尾台でできれば
- 伏尾台ってどこ？という前提でPRの手法を検討すべき
- 阪急バスの減便をどう考えるか
- 公金投入しない方法を考えるべき
- 北高、伏小跡地や中古物件のリノベーションによる活用
- 北高、伏小跡地を総合運動公園化しよう
- 公園もだが、道路も整備する必要がある
- 伏尾台憲章を採択すべき

#### <アンケート等でのご意見>

- 駐車場をつくるべき
- 公園を整備してほしい
- キャンプ場の整備
- 自然をいかしたレストランやカフェの整備
- 夏祭りを開催する
- ドッグランの整備
- 星座鑑賞会（天体観測）を開催





- ボーイスカウトの拠点にする
- ハイキングコースの整備
- ウォーキングやジョギングの際の集いの場にする
- 地域のスポーツクラブ施設を整備
- 趣味の交流場所が欲しい
- (伏小を) サロンの活用をする
- ギャラリー
- 市主催の生涯学習講座の一部を移転する
- 環境をいかした文化施設
- ビオトープを整備する
- リタイヤ組から子ども達への語り場にする
- 音楽のまち・池田として活用
- 自然をいかしたイベント会場にする
- 小、中、高がある利点をいかす
- 風力発電の施設をつくる
- 伏尾台センターを充実させる
- 並木を桜にする

### 「子育てや教育環境の充実したまち」に関連する意見

<創生会議>

- パトロール等もあり、子育てには良い環境だと思う
- 自分の子どもに、「ここに住め」と言えるかどうか

- 北高跡地の活用において、小中+高校はどうか
- 色々な文化施設が遠く、交通の便もよくない
- 高齢者による寺子屋のような教室をしてはどうか
- 北高跡地を、スポーツの合宿所や大学のサテライトにしてはどうか
- 若い人が住むための具体策が必要
- フリースクールの活用、スマイルファクトリーを土台に、文教地区にしてはどうか
- 若者を受け入れる体制ができていない
- 子どもが少なく、中学の部活に支障が出ている
- 小4から学童が無くなるので、夏休みなどに地域で朝から過ごせる場所を作ってほしい
- 古民家をリノベーションしてカフェを開き、そこに学童の機能を乗せているところもある。スキルのあるNPOをお願いしてはどうか。
- 学童保育は、新設ではなく元々箱のあるところに開設できないか
- ほそごう学園で、英語力の強化等魅力ある、特色ある取り組みをして欲しい
- ほそごう学園を特区にして、池田全域からバスで通えるようにしてはどうか
- 私はどこの子ども「伏尾台の子」として見ている
- 北高、伏小跡地を子育て支援のテーマパークにしよう
- ほそごう学園は、もっとグローバルで文化的な特性を出すべき
- 大学誘致はダメ



- 中古住宅の購入時における助成等のある特区
- 「みんなで育てる街、伏尾台。」を目指す
- 親世代の交流も検討
- 「契約祖父母制度」の導入
- 伏尾台ビエンナーレまたはほそごうビエンナーレの開催

<アンケート等でのご意見>

- お母さんの集える場所・支援場所が必要
- マンション開発
- 子どもが思いっきり遊べる場所
- 少人数でも遊べる場所
- コンサートの開催等、音楽活動の発表の場
- カラオケができる施設
- 幼児向けプレイルーム
- 不用品を売却して、そのお金を活用（小学生からのご意見）
- 子育て世代の交流の場
- 世代別運動会の開催
- 教育や文化施設（若い人向き）
- 卓球台の活用・再整備（小学生からのご意見）
- 学校外のクラブ活動の場としても提供
- 演劇などのワークショップを開催する

- 児童総合センターをつくる
- ネット環境を整備し、大画面のプロジェクターを設置する

**その他・全体に関連する意見**

<創生会議>

- 隔月で1回位、子ども、子育て、教育、福祉、健康維持などの目的別に住民会議を開催して、結果を行政に反映させて欲しい。
- 北高跡地については、地元市を中心とする、経済、交通、広い範囲での、経済と行政の連合体からの計画の提案がある。

